

申立書記載例

1 まず、申立書の表紙には、「事件の当事者」を明示します。

「申立人」の欄には、あなたの住所と氏名を記入します。次に、「相手方」の欄に、あなたのトラブルの相手となっている個人又は企業の住所と氏名を記載して下さい。

あなたが、弁護士や親族などの代理人をつける場合は、その代理人の住所と氏名を、「申立代理人」の欄に記載して下さい。

なお、代理人をつける場合、あなたと代理人との関係が明らかになる書類（委任状や戸籍謄本、住民票など）を、申立書に添付する必要があります。

また、当事者が、会社や企業である場合、その商業登記簿（役員に関する事項）にならって、会社名と代表者名を並記して下さい。（登記簿はお近くの法務局で取得できます。）

2 次に、申立書の「申立の趣旨」、「申立の理由」の記載方法を説明します。

まず、「申立の趣旨」には、あなたがトラブルの相手方に対して望む、解決方法を記載して下さい。（申立用紙の1～3番に当てはまらないものは4番に具体的に書いて下さい。）

「申立の理由」には、相手方との関係、トラブルの原因、交渉経過など、事件のいきさつが分かるように、簡潔に事実関係を説明して下さい。

詳しい説明が必要な場合は、別紙や別表を利用して下さっても構いません。

最後に、「添付資料」として、あなたの主張や要求を裏付ける書類、その他事件に関係のある証拠で、あなたが提出できるものをあげて下さい。（記載例に一例をあげます。）

【トラブルの例】

- ・金銭トラブル （貸金の返還を求める例）
- ・売買のトラブル （欠陥住宅の修繕を求める例）
- ・借地借家のトラブル （建物の明渡を求める例）
- ・職場のトラブル （解雇無効の確認、退職金の支払いを求める例）
- ・交通事故のトラブル （損害賠償を求める例）
- ・近隣トラブル （相手方の行為を求める例）
- ・家庭のトラブル （離婚・財産分与を求める例）
- ・相続のトラブル （適正な遺産分割を求める例）
- ・男女間のトラブル （浮気・不倫問題の例）
- ・その他のトラブル （加害者から示談のあっせんを求める例）

金銭トラブル（貸金の返還を求める例）

（申立の趣旨） *申立用紙「申立の趣旨」の1番に記載し、①にチェックします。（「利息」と「遅延損害金」を請求したい場合は、分かりやすく書き足して下さい。）

1 相手方は申立人に対し、金100万円及びこれに対する年5パーセントの利息と遅延損害金を支払え。

【上記請求の理由は次のことがらです。】

①貸金

とのあっせんを求めます。

（申立の理由） *具体的に記載して下さい。

1 私（申立人）は、平成19年1月11日、●●さん（相手方）に、次の約束で、100万円を貸しました。

金額 100万円

弁済期 平成19年12月31日

利息 年5パーセント

損害金 年5パーセント

2 ですが、●●さんは、支払期限の平成19年12月31日が過ぎても、借りたお金を返してくれません。

3 そこで、私は、●●さんに電話で催促をし、平成20年2月頃には、●●さんの自宅へ行って、借金の返済を求めました。

そのとき、●●さんは、「遅くなって申し訳ない。」「春になったら、まとまった収入が入るので、それまで待つて欲しい」などと言いました。そこで、私は、●●さんを信用して、5月まで返済を猶予することにしました。

その際、念のため、●●さんと覚え書きを交わしています。

4 その後、約束の期限が過ぎたのですが、それにもかかわらず、●●さんは、現在まで、一向に貸したお金を返してくれる様子がありません。

5 そこで、●●さんには、なるべく早く、貸し付けた100万円と、それに対する利息及び遅延損害金を支払ってもらいたいと思っています。

（添付資料）

金銭消費貸借契約書、領収書、覚え書き

売買のトラブル（欠陥住宅の修繕を求める例）

（申立の趣旨） *申立用紙「申立の趣旨」4番に記載します。（「損害賠償金」を1番に書くこともできます。⑤に「購入物件の瑕疵による損害賠償と慰謝料」等と記載して下さい。）

4 その他（具体的に）

- (1) 相手方は、速やかに、本物件の補修工事をせよ。
- (2) 相手方は、申立人に対し、相当額の損害賠償金を支払え。

とのあっせんを求めます。

（申立の理由） *具体的に記載して下さい。

1 当事者の説明

相手方は、大手不動産業者です。

申立人は、相手方から、〇〇所在の新築マンション「××タワー〇〇号室」（以下、本物件と言います。）を購入しました。

2 取引の内容

次のとおりです。

- ・平成〇〇年〇月〇日、本物件の売買契約。
販売価格・諸経費総額5000万円
頭金500万円、住宅ローン月々20万円
- ・平成〇〇年〇月〇日、頭金500万円を相手方に支払う。
- ・平成〇〇年〇月〇日、本物件に入居。

3 欠陥の発見

本物件には、給排水管など水回りの設備に、入居当初から不具合があり、入居直後から、漏水、湿気、カビ、害虫等が発生しました。

そのため、申立人は、本物件に住むことができなくなり、賃貸マンションへの転居を余儀なくされました。なお、転居費用や賃料等は、すでに相手方が負担しています。

4 転居の影響

申立人は、妻子合わせ5人家族で、通勤や子供の通学に便利なことから、本物件を購入しました。上記不具合により転居せざるを得なくなった結果、相当額の交通費など実害が生じたほか、何よりも、夢のマイホームに寄せた期待や喜びを踏みにじられ、大変な精神的苦痛を被りました。

5 申立人の希望

一日も早く、本物件での生活を再開したいと思います。また、相手方には、転居に伴う経済的損失、精神的苦痛を十分に慰謝してもらいたいです。

6 添付資料

- ・売買契約書
- ・登記簿
- ・室内の状況写真
- ・付近地図 など

借地借家のトラブル（建物の明渡を求める例）

（申立の趣旨） *申立用紙「申立の趣旨」の2番に記載します。（所在地も記載して下さい。）

2 相手方は申立人に対し、

① 建物を明け渡せ。

（建物の所在地 ○○県○○市△△町5-1-1所在、××荘301号室 ）

とのあっせんを求めます。

（申立の理由） *具体的に記載して下さい。

1 申立人と相手方の関係

申立人は、○○県○○市△△町5-1-1所在のアパート××荘（木造3階建て全12室。以下、本件建物という。）を所有し、その居室を賃貸するオーナーで、相手方は、同アパート301号室の住人です。

2 本件建物の状況

本件建物は、築25年に達し、老朽化が進んでいるうえ、耐震構造に不安があることから、申立人としては、数年前から、その建て替えを検討しているところです。

申立人は、本件建物の賃貸契約の更新期間を2年としているところ、更新時期の近づいた住人に対しては、順次、事情を説明し、立ち退きの了解を取り付けております。

現在、本件建物には、申立人を除き5名の入居者が現住していますが、相手方以外は全員、立ち退きの要請に応じています。

3 相手方との交渉経緯

申立人は、平成22年1月以降、再三、相手方の居室を訪れ、上記事情を説明し、次回更新期限（平成23年1月）一杯での立ち退きを求めてきました。

その際、申立人は、△△万円の立退料を支払うとの提案をしています。

しかし、相手方は、少なくとも▲▲▲万円を受け取らなければ、立ち退く気はないなどと回答し、現在まで、立ち退きを拒否し続けている状況です。

4 申立人の希望

なるべく早期に、相手方が、本物件を明け渡してくれるよう求めます。

もし明け渡してもらえるなら、相手方に、相当額の立退料を支払うこともやぶさかではありません。

（添付資料）

賃貸契約書、不動産登記簿、本物件の写真、建て替え工事の見積書など

職場のトラブル（解雇無効の確認、退職金の支払いを求める例）

（申立の趣旨） *申立用紙「申立の趣旨」の4番に記載します。

4 その他（具体的に）

①相手方による、申立人の解雇が無効であることを確認する。

万が一、これが認められない場合は、

②相手方は、申立人に対し、退職金及び慰謝料合計300万円を支払え。

とのあっせんを求めます。

（申立の理由） *具体的に記載して下さい。

1 当事者に関する説明

相手方は、大手自動車会社△△社の孫請け企業で、自動車製造に必要な特殊部品の製造販売を業としてしています。

私は、平成元年4月以降、相手方の営業部門に勤務し、解雇当時、営業部の主任を務めていました。

2 解雇の経緯

相手方は、近年、不況の影響から減収傾向にありましたが、特に、ここ1、2年は、著しく受注が減り、会社経営が悪化していました。

それを受け、社内のコスト削減やリストラが進んでいましたが、私は、営業部門の主任を任されていたこともあり、そのような話とは無縁と考えておりました。

しかし、平成22年2月、私は、何の前触れもなく、突如、相手方から解雇を通告されたのです。解雇理由には、任務懈怠による業績不振の悪化と部下へのパワハラなどがあげられていました。しかし、そのような事実は全く身に覚えがありません。

相手方による解雇は、明らかな不当解雇です。

3 相手方の対応

このように突然理由もなく解雇されたうえ、相手方からは、一切退職金の支払いがありません。

相手方は、財政悪化と懲戒解雇を理由に退職金の支払いを拒んでいるようですが、仮に解雇するにしても、就業規則に定めるとおりの退職金が支払われるべきです。

4 今後に対する希望

第一に、解雇に正当な理由がないことを確認し、職場に復帰したいと思います。

また、今回の件で相手方への不信が募ったことから、復職を諦める気持ちもあります。しかし、その場合でも、規定通りの退職金が支払われるべきですし、私の精神的苦痛に対して、十分な慰謝料を支払ってほしいと思います。

5 添付資料

解雇通知、相手方の商業登記簿、退職金規定の写し、給与明細、賞与明細など

交通事故のトラブル（損害賠償を求める例）

<p>(申立の趣旨) *申立用紙「申立の趣旨」の1番に記載し、③にチェックします。</p>
<p>1 相手方は申立人に対し、金〇〇〇万円を支払え。</p> <p>【上記理由は次のことがらです。】 ③ 交通事故による損害賠償とのあっせんを求めます。</p>
<p>(申立の理由) *具体的に記載して下さい。</p>
<p>1 事故の経緯</p> <p>平成●年■月▲日、私（申立人）は、次のような事故に遭いました。</p> <ul style="list-style-type: none">・事故発生日時 平成●年■月▲日 午前×時×分頃・事故現場 〇〇県〇〇市△△町×-× □□交差点付近・加害車両 (*車種やナンバーなどを分かる範囲で記載して下さい。)・被害車両 (*車種やナンバーなどを分かる範囲で記載して下さい。)・事故態様 (*事故の状況を、できるだけ詳しく記載して下さい。) <p>私が、青信号の交差点に直進したところ、右側から赤信号を無視して走ってきた、加害者（相手方）の運転する普通自動車が、交差点にそのまま突っ込み、私の運転する車の後部に衝突しました。</p> <p>衝突のため、私の車は、交差点の中で1回転し、道路脇のガードレールにぶつかって停車しました。</p> <p>幸い、通行人や他の車両を事故に巻き込むことはありませんでした。</p> <p>2 事故の落ち度</p> <p>事故は、信号無視した加害者の一方的な落ち度で起こりました。私に、落ち度は全くありません。</p> <p>3 損害の内容 (*損害の項目、内容を、できるだけ詳しく記載して下さい。)</p> <p>(1)車両の修理代金 〇〇万円</p> <p>事故で車両全体が大破し、これを修理するのに右費用が掛かりました。</p> <p>(2)入院通院治療費 〇〇万円</p> <p>奇跡的に重傷は負わなかったものの、検査入院、負傷箇所の治療等のため、右費用が掛かりました。</p> <p>(3)慰謝料 〇〇万円</p> <p>事故にあった私の気持ちを慰謝するには、少なくとも右金額をお支払い頂きたいと思えます。</p> <p>(4)その他 (*あれば、具体的に記載して下さい。)</p> <p>4 事故後の対応状況</p> <p>加害者は、任意保険に加入しておらず、4の損害について、十分な賠償は受けられていません。</p> <p>また、加害者は、事故直後、名刺をくれたものの、私が電話しても、すぐに電話を切るか応答せず、誠意が見えません。まともな謝罪の言葉すらいただいております。</p> <p>5 申立人の希望</p> <p>法律的なことはよく分かりませんが、公正な判断に基づいて、適正な金額の損害賠償を求めます。</p> <p>また、大きな事故でしたので、後遺症も不安です。その保障も求めます。</p> <p>6 添付資料</p> <p>交通事故証明書、各種請求書・領収書、診断書、その他</p>

近隣トラブル（相手方の行為を求める例）

（申立の趣旨） *申立用紙「申立の趣旨」の4番に記載します。

4 その他（具体的に）

- (1) 相手方は、騒音防止のため、適切な防音対策をせよ。
- (2) 相手方は、今後、地域ルールを遵守することを約束せよ。
- (3) 相手方は、申立人に対し、慰謝料〇〇万円を支払え。

とのあっせんを求めます。

（申立の理由） *具体的に記載して下さい。

1 当事者に関する説明

申立人は、〇〇市△町1-1-1に自宅を所有する住人です。相手方とは、敷地を接する隣人です。相手方は、昨年暮れに、カラオケスナック■■を新規開店した自営業者です。

2 相手方による生活妨害

(1) 騒音

相手方は、平成×年×月に、カラオケスナックの営業を始めたのですが、その当初から、営業時間中に、カラオケの大音量が店外に聞こえ、付近住民が騒音に悩まされています。

相手方は、毎日深夜1時まで営業しており、睡眠を妨げられる被害は特に深刻です。

一度、専門業者に計測してもらったところ、●●デシベル以上の音が計測され、相手方が、適切な防音措置を施していない可能性が非常に高いそうです。

(2) 地域ルールへの違反

また、相手方は、ゴミ出し日を見逃して家庭ゴミを出したり、野良猫や鳩を餌付けしたりするなど、地域のルールを守らず、付近住民に大変な迷惑をかけています。

3 交渉経過

以上の点について、付近住民を代表して申立人が、抗議文を送り、直接面会して、改善を申し入れました。しかし、相手方は、その場限りは良い返事をしたものの、以降も、何一つ改善する様子が見えません。

4 相手方への希望

相手方には、速やかに、適切な防音対策をとることを求めます。また、今後、地域ルールを見逃すようなことはせず、これまで住民にかけた迷惑については、きちんと慰謝料を支払って欲しいと思います。

（添付資料）

現場写真、相手方を撮影したビデオテープ、計測結果報告書、申入書（写し）、町内会規則など

家庭のトラブル（離婚・財産分与を求める例）

（申立の趣旨） *申立用紙「申立の趣旨」の4番に記載します。

4 その他（具体的に）

- (1) 相手方は、申立人と離婚する。
- (2) 相手方は、申立人に対し、財産分与として、1500万円を支払う。

とのあっせんを求めます。

（申立の理由） *具体的に記載して下さい。

1 当事者の関係

私（申立人）と夫（相手方）は、昭和●年●月に結婚し、今年で結婚〇〇年目になる夫婦です。

2人の間には、成人した3人の子供がいますが、全員すでに独立しています。現在、私は夫と別居し、△△市に住む長男の家に身を寄せています。

2 夫婦の関係

相手方は、昭和▲▲年生まれで、昔気質なところがあり、「妻は夫に従うべきだ」、「夫が妻を養っているんだ」との感覚が強く、長年、私に隷従を強いてきました。お酒を飲んで気が大きくなると、そのような暴言を吐いたり、まれに、暴力を振るうこともありました。

私は、結婚後、長らくそのような生活に耐え、専業主婦を続けてきましたが、ついに耐えられなくなり、およそ5年くらい前に、子供達と相談のうえ、パート勤めを始め、長男の家に身を寄せるようになりました。

私が外で働き始めて以降、夫は、時々長男の家に来ては、私に自宅に戻るよう迫るのですが、その都度、「女は働く必要はない」、「家に入っていればいい」などと言う始末で、私に歩み寄ろうとする態度はありません。

先日、夫の退職に伴い、退職金約3000万円が夫の預金口座に入金されました。

私としては、これをきっかけに、夫から独立し、第2の人生を歩みたいと思っております。

3 離婚の原因

離婚を希望するのは、夫との価値観の相違や夫の家庭内暴力に原因があり、これ以上婚姻生活を続けることは到底できません。

4 話し合いの状況

夫には、何度も離婚の話をしましたが、全く応じてもらえません。一度、長男が入ってくれて、話し合おうとしたのですが、怒って暴れてしまい、話し合いになりませんでした。

5 相手方への希望

現実を受け入れて、協議離婚して欲しいと思います。また、財産分与として、少なくとも、夫の退職金の2分の1は、私に権利があるはずですので、この支払いを求めたいと思います。その他の財産はいりません。

6 添付資料

戸籍謄本

相続のトラブル（適正な遺産分割を求める例）

（申立の趣旨） *申立用紙「申立の趣旨」の4番に記載します。

4 その他（具体的に）

亡き父A名義の遺産について、適正妥当な遺産分割をする。

内容でのあつせんを求めます。

（申立の理由） *具体的に記載して下さい。

1 当事者について

申立人（弟）と相手方（兄）の父Aは、平成×年×月×日に、〇〇病院にて、病死しました。Aは遺言を残していません。

Aの相続人には、申立人と相手方のほか、姉2名がありますが、いずれも相続を放棄しました。なお、相続人のうち、申立人と相手方の両世帯は、同じ建物に同居して暮らしています。

2 遺産について

Aの遺産は、次のとおりです。

①不動産

・土地

東京都〇区△町1-1-1 宅地 ××平方メートル（×坪）

・建物

同所

居宅 木造2階建て

1階 ●●平方メートル（×坪）

2階 ▲▲平方メートル（×坪）

②預貯金・現金その他

・預金

〇〇銀行△支店 普通1 2 3 4 5 6 7 A名義 金×××円

定期2 3 4 5 6 7 8 A名義 金×××円

③家財道具一式

3 争いのない点

遺産の範囲・内容。不動産を、兄弟の共有名義とし、持ち分も2分の1ずつとすること。

4 争いのある点

預金について、相手方が、2分の1ずつ折半と主張するのに対し、申立人は、少なくとも3分の2は、自分に権利があると主張します。

5 関連事情

相手方家族は、平成●年頃まで、地方で生活しており、実家に仕送りをすることもありませんでした。その間、父母の面倒は、申立人だけが、一人で看てきました。その点が、相続でも考慮されるべきです。ただ今回の遺産分割は、身内のことなので、できるだけ穏便に話を進めたいと思います。

6 添付資料

戸籍謄本・除籍謄本、登記簿謄本、預金通帳の写しなど

男女間のトラブル（浮気・不倫問題の例）

（申立の趣旨） *申立用紙「申立の趣旨」の4番に記載します。

4 その他（具体的に）

- (1) 相手方は、申立人に対し、申立人の夫との不倫関係を謝罪する。
- (2) 相手方は、申立人の夫と、今後一切接触しない。
- (3) 相手方は、申立人に対し、相当額の慰謝料を支払う。

とのあっせんを求めます。

（申立の理由） *具体的に記載して下さい。

《当事者の関係》

私（○歳）と夫（△歳）は、平成●●年●月●日に結婚しました。子供はおりません。

相手方（□歳）は、夫の昔の職場（××社）の同僚で、二人は、最近まで約3年間、不倫関係にあったようです。

なお、相手方と夫は、私が夫と付き合い始める前（平成▲年頃）に、一時交際していたようです。

《不倫関係の発覚》

今からちょうど1年位前の、平成○○年○月頃から、夫の帰宅が遅くなることが急に増え始めました。もともとお酒を飲まない人なので、付き合いで遅くなることはそれまで殆どありませんでした。本人は、残業が増えたなどと言っていましたが、給与明細を見ても、残業日数には以前と変わりがなく、不審に思っていました。

それから数ヶ月経ったある日、夫から私に届いたメールを見ると、明らかに私とは違う女性を旅行に誘う内容でした。このことを夫に問いつめたところ、初めは言い訳をしていましたが、ついに相手方と交際している事実を認めました。

以前付き合い合っていた相手方からの誘いを断り切れず、私との結婚後に、よりを戻したとのことで、とてもショックでした。

《相手方とのやりとり》

夫から不倫のことを聞いた私は、夫の携帯電話を調べ、すぐに、相手方に電話をかけました。ですが、直接話をしても、お互いに興奮してしまって、一向に話し合いになりません。相手方も、自分のことを棚に上げ、夫を取られる私が悪いかのような口振りで、全く反省の様子がうかがえませんでした。

私も夫も、社会的立場のある人間ですので、こういった話を裁判など表沙汰にすることは望んでいません。

しかし、相手方の態度を見ても、このまま放っておくことなどできません。

《相手方に求めること》

私と夫の結婚生活を台無しにした相手方を、許すことなどできませんが、それでも、誠心誠意、心のこもった謝罪をしてもらいたいです。

また、今後、二度と夫と連絡を取って欲しくありません。

そして、私の精神的苦痛に対し、最大限の賠償をして、罪を償って欲しいと思います。

《添付資料》

相手方の戸籍謄本、メールの写しなど

その他のトラブル（加害者から示談のあっせんを求める例）

（申立の趣旨） *申立用紙「申立の趣旨」の4番に記載します。

4 その他（具体的に）

- (1) 申立人は、相手方に、相当額の示談金を支払う。
- (2) 相手方は、申立人を許し、被害届けを取り下げる。

とのあっせんを求めます。

（申立の理由） *具体的に記載して下さい。

1 申立人と相手方の関係

申立人と相手方は、傷害事件の当事者です。申立人の暴行により、相手方は、顔面骨折等全治1ヶ月の重傷を負いました。

2 事件の概要

平成×年×月×日、路上を通行していた申立人に、相手方が肩がぶつかったなどと言いつけられたことから、互いに口論となりました。両者の喧嘩は、最初、小競り合い程度でしたが、次第にエスカレートしていき、ついに、相手方が素手で申立人の顔面を殴ったことから、申立人が逆上し、相手方を柔道の背負い投げで舗装された路面に投げつけてしまいました。

なお、申立人は、柔道の有段者で、元インターハイ候補選手となった経験もあります。

3 事件後の経過

事件後、警察官が呼ばれ、事情聴取されましたが、申立人が反省し、連絡先を教えたことなどから、逮捕はされずに、帰宅することを許されました。

しかし、被害結果が大きく、被害者も納得していないことから、刑事処分がまだ決まらず、最悪の場合、起訴されて、刑事裁判となってしまう可能性もあると言われています。

申立人は、弁護人を通して、何度か示談交渉しましたが、相手方が数百万円との法外な要求をしたこともあり、いまだ示談はできていません。

4 申立人の希望

申立人は、できるかぎり起訴は避けたいと思っており、相手方に相当額の賠償金を支払って、示談することを望んでいます。そのために、適正な示談金の額を示していただき、和解のあっせんないし仲裁をしてもらうよう、お願いします。